

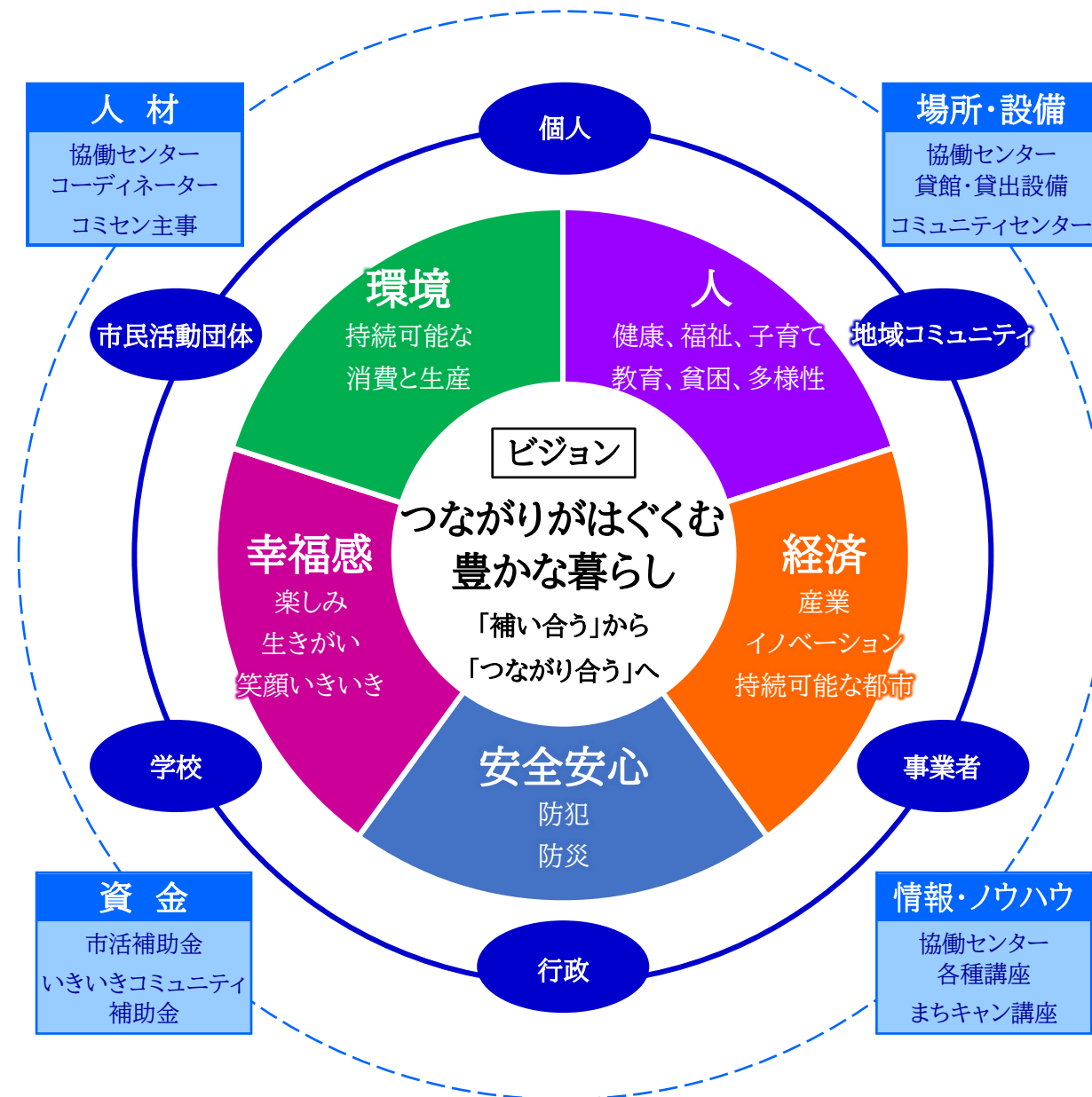
■長岡市の協働が目指すビジョン

つながりがはぐくむ豊かな暮らし～「補い合う」から「つながり合う」へ～

長岡市は今、急速に進む少子高齢化や人口減少、頻発する自然災害など、市の存続に関わる課題に直面しています。そんな今だからこそ、市民協働条例の理念に立ち返り、市民一人ひとりが持続可能なまちづくりのために何をすべきか考えて行動し、お互いにつながり合いながら、将来にわたって安心して心豊かに暮らし続けられる「ふるさと長岡」を“共創”していくことが必要です。

■ビジョンのイメージ

各主体は、それぞれの持ち味を生かして、持続可能なまちづくりの実現のためにできることややるべきことに主体的に取り組めます。市は、市民協働センターの運営、市民活動推進事業補助金による活動支援などを通じて、持続可能なまちづくり活動の芽をはぐくみ、様々な主体同士のつながりづくりを後押しします。



■長岡市の考え方

①将来にわたって長岡が豊かに暮らせるまちであり続けるために、多様な主体の「つながり」「広がり」を高めていきます

②地域や社会をよくしたいと頑張る市民や団体が数多く生まれています。さらにそれらがつながって自主的に協働できるよう、長岡の活力を高める未来への投資として、市民活動推進事業補助金の制度を改正します

■長岡市の今後の具体的な取り組み

①アンケートから見えてきたのは、「つながり」が有効だということです。分野は違っても他の団体から活動のヒントをもらったり、真似をしたり、相談に乗ってもらったり、協力し合ったりがあるからです。長岡の活力を高めるため、無理なくできることを緩やかにつないでいくことを大切にします。

- ・協働マッチングリストを各方面で活用します
- ・市民活動フェスタを通じ団体同士のつながりの機会を提供します
- ・市民活動推進事業補助金により団体の活動や主体同士の助け合いを下支えします
- ・**市民活動推進事業補助金の成果発表会を通じ団体同士のつながりの機会を提供します**
- ・パネル展の開催やらこっでの取材を通じ市民協働センターと支所地域のつながりを強化します
- ・協働センターとコミュニティセンターを核として様々なつながり機能を強化します
- ・市民活動の新たなプレーヤーを発掘するため、定年後の豊かな時間を活用したい人向けにマッチングの機会を提供します

②アンケート結果から、市活補助金は活動のスタートや軌道に乗せる段階で有効活用されていることが分かりました。地域のためにと頑張る市民や団体に積極的に投資し、「令和の米百俵」として百年先を見据えた未来の担い手が数多く生まれ、成長するよう支援していきます。

- ・**補助金で応援する市民活動の事業数を 50 事業（過去3年平均）から 70 事業に増やします。そのため補助金の上限を 100 万円から 50 万円とします（予算総額 2,000 万円）**
- ・**高い公益性と継続性が見込まれる事業には 100 万円を上限に補助します（条件有）**
- ・**スタートアップ事業への支援強化を目指し 10 万円までは事業の全額を補助します（これまでは 20 万円）**
- ・「地域コミュニティ事業補助金」（地域振興戦略部所管）を統合し、市民活動に対する相談窓口を統一することで団体の利便性を向上し情報の一本化を図ります
- ・補助事業名を長岡市「未来を創る市民活動応援補助金」に改正し長岡市の未来への積極的な礎とします